

## 1—日本文化紹介派遣

主催……34件(66カ国121都市) 助成……63件(46カ国99都市)

落語、アニメ、建築、書道、食文化など日本の文化16分野の、以下の方々をはじめとする専門家を世界各地に派遣し、講演、デモンストレーション、ワークショップを行いました。

●藤田千恵子(フードライター)／紫舟(書家)／山口正人(「彩雲堂」和菓子職人、以上P.15参照)／桂かい枝(落語家)／坂茂(建築家)など

## 2—文化人招へい

文化人招へい……38名(26カ国)

文化の諸分野において大きな影響力をもつ、以下の方々をはじめとする各国の文化人を招へいし、日本の実情視察、関係専門家などとの意見交換を行いました。

●ウスタード・グルザマン(音楽家/アフガニスタン)／ペーテル・ブダイ(料理専門家/ハンガリー)／モハメド・ガウス・ピン・ナスルディン(国立芸術文化遺産大学学長/マレーシア)など

## 3—文化協力

主催……6件(7カ国8都市) 助成……10件(10カ国17都市)

トルコのカマン・カレホユック考古学博物館展示・陳列指導(P.15参照)、レバノン柔道連盟競技者技術指導、シリア・ヨルダンのデジタルアニメ分野における人材育成などに協力しました。

## 4—市民青少年交流

主催……2件 助成……118件

○日本のふろしき活用ワークショップ…インドネシアのジャカルタで開催されたエコプロダクツ国際展の会場において、環境教育の一環として開催、ベトナムにも巡回しました。

○米国の現代美術専門のキュレーター招へい(6名)…日本の芸芸との交流を行いました。

○環境問題・環境教育に取り組むNGO／NPO関係者および初等・中等教育の関係者招へい(40名、14カ国)…21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS)プログラムの一環として、「環境-自然との共生と持続可能な循環社会」をテーマに、環境分野に関わる日本の取り組みを紹介し、シンポジウムを開催しました。

## 5—中学高校教員交流

世界各国の中学・高校教員招へい……190名(53カ国)

海外の青少年の日本理解および国内の異文化理解の促進を目的に、長野県・福井県・さいたま市(埼玉県)・大垣市(岐阜県)・富士市(静岡県)・奈良市(奈良県)を訪問し、各地で学校訪問、文化施設などの視察や交流を行いました。

## 6—開高健記念アジア作家講演会シリーズ

故開高健氏の遺族からの寄附金をもって、1990年度から実施して

いるアジア作家の講演会シリーズ。第19回目にあたる2009年度は、タイから若手作家のウティット・ヘーマムーンを日本に招へいし、国内4カ所(東京、福岡、大阪、函館)で講演会を行いました(P.15参照)。

## 7—国際展

第53回ヴェネチアビエンナーレ美術展(コミッショナー:南薫宏、出品作家:やなぎみわ)に日本代表として参加しました。

## 8—海外展

主催……7件(7カ国9都市) 助成……50件

海外および日本国内の美術館などとの共催で、以下をはじめとする、さまざまな展覧会が実施されました。

●「TWIST and SHOUT: Contemporary Art from Japan」展(P.12参照)／「WA:現代日本のデザインと調和の精神」展(ハンガリー、ドイツ、ポーランド)／「Flickers: new media art from Japan」展(ベトナム)／「出発(たびだち) 6人のアーティストによる旅」展(フランス)／「Kami: 静と動—現代日本の美術」展(ドイツ)など

○展示セットによる世界巡回展[18セット、98件(57カ国97都市)]

海外の美術館等との共催で、伝統から現代まで幅広い分野を扱う展示セットが各国に巡回する展覧会を実施しました。

「スピリットを写す:日本の現代写真」／「自然に潜む日本」／「日本の子ども60年展」／「ウィンター・ガーデン:日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」などが展示セットに含まれました。

## 9—国内展

これまで十分には日本で紹介されてこなかった海外の優れた美術を紹介する目的で、「アヴァンギャルド・チャイナ」展を愛知県美術館との共催で実施、中国人アーティスト6名を招へいしました。

## 10—造形美術情報交流

国際交流のための基盤とネットワークづくり……4件(10カ国)

○第5回アジア次世代美術館キュレーター会議…アジアの美術館のネットワーク構築を目指し、シンガポールとマレーシアで開催。

○オーストラリア人ポップカルチャー研究者招へい

クリエイティブな分野/産業に従事する若手クリエイターを日本に招へい

……21名(13カ国)

21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS)プログラムの一環として、アーティスト、デザイナーなどを日本に招き、作品制作やネットワーク構築のための機会を提供しました。

## 11—海外公演

主催……26件(63カ国93都市) 助成……98件

以下をはじめとする海外公演を主催しました。

●音楽ロシア公演/中央アジア・コーカサス巡回音楽公演/沢知



[左] ウティット・ヘーマムーン(作家/タイ) 講演会  
[中] 「TWIST and SHOUT」展カタログ  
[右] 「ウィンター・ガーデン」展カタログ

恵韓国公演(以上3件)／喜多流大島能楽堂による北欧能公演(フィンランド、スウェーデン)／沖縄民謡インド巡回公演／串田アキラ中米巡回公演(グアテマラ、パナマ、コスタリカ、エルサルバドル)など

○助成プログラム「パフォーミングアーツ・ジャパン(PAJ)」を通じて26件の助成…日本の優れた舞台芸術作品を紹介する米国、欧州の文化芸術団体に対して行いました。

## 12—国内公演

日本人指揮者柳澤寿男が率いるバルカン室内管弦楽団(コンゴ、セルビア、マケドニアの音楽家により構成)による日本公演を実施しました。

## 13—国際舞台芸術共同制作

実施……2件(2カ国4都市)

○日本・インドネシア共同制作舞踊作品「ガリババの不思議な世界」公演…日本の現代舞踊カンパニー「パパ・タラフマラ」とインドネシアの芸術文化団体ケローラ財団との共催により、インドネシアで実施しました。

○日本・タイのコンテンポラリーダンス共同作品「コウカシタ」…フェスティバル/トーキョーとの共催で、井出茂太の振付による作品をタイのバンコクとチェンマイで上演しました。

## 14—舞台芸術情報交流

実施……8件

国内外の舞台芸術団体、プレゼンター、フェスティバル実施団体、劇場間の情報交流促進を図るため、「東京芸術見本市2010」や、日本の舞台芸術情報を日本語・英語のバイリンガルで発信するウェブサイト「Performing Arts Network Japan」(<http://www.performingarts.jp/>)などの事業を実施しました。

## 15—日本理解促進出版・翻訳

助成……76件(24カ国)

日本語で書かれた優れた図書(人文/社会科学/芸術分野)の外国語への翻訳および外国語で書かれた日本文化紹介図書の出版を支援する公募プログラムを通じ助成を行いました。

## 16—国際図書展

海外開催の国際図書展に共同参加……16件(16カ国16都市)

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のために、社団法人出版文化国際交流会等と共同参加しました。

○第8回バンコク国際図書展(テーマ国、日本)

○第11回モスクワ国際知的図書展non/fictionなど

## 17—テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の提供……35件(33カ国)

日本のテレビ番組の海外放映を促進するため、エルサルバドルへ『ワンダー数学ランド』や『ワザありにっぽん』シリーズの番組提供

などを行いました。

## 18—日本理解促進映画・テレビ番組制作

映画とテレビ番組の制作費助成……9件(8カ国)

海外における日本理解を促進するため、キューバの日系移民とその子孫たちに関するドキュメンタリー(キューバ)など、日本に関する映画と番組制作に対し助成しました。

## 19—海外日本映画祭

日本映画祭・日本映画上映会……57件(52カ国)

海外の国際映画祭での日本映画上映への助成……57件(26カ国)

日本映画祭や日本映画の上映を、以下のとおり在外公館・海外文化機関等と共同開催しました。

○フィリピンの日本映画祭「Eiga-sai 2009」事業

○ミャンマーでの日本映画祭(「日メコン交流年」記念行事)

○ベトナムでの巡回映画祭など

さらに他団体主催の事業を助成することで、日本映画が海外で上映される機会をつくりました。

## 20—国内映画祭

日本で紹介される機会の少ない諸外国の映画を紹介する目的で、東京国際映画祭において、昨年夏に急逝したマレーシアの女性監督ヤスミン・アフマドの特集上映や山形国際ドキュメンタリー映画祭の「アジア千波万波」部門の上映を共同開催しました。

## 21—映像・出版情報交流

○季刊誌『Japanese Book News』(No.60~63)刊行…海外の出版社・翻訳者向けの日本の文芸の情報誌を刊行

○『New Cinema from Japan』共同発行(年2回)…日本映画の基本情報を海外に提供する内容の書籍をユニジャパンと共同で発行

○「国際交流基金ポラナビ著作/翻訳賞」授与…韓国で日本に関する著述活動を行っている優れた著述家を表彰

## 22—国際漫画賞・アニメ文化大使事業への協力

海外でマンガの普及啓蒙活動に貢献する新進のマンガ作家を顕彰する「国際漫画賞」(主催:国際漫画賞実行委員会)の最優秀賞受賞者と優秀賞受賞者計4名を日本に招へいするとともに、海外におけるアニメ文化大使(ドラえもん)の外国語字幕付DVDの上映会に協力しました(43回、27カ所)。

## 23—日中交流センター

2009年度は「中国高校生長期招へい事業」として第4期生35名を招へい、「ふれあいの場」が青海省西寧市、江蘇省連雲港市、黒龍江省ハルビン市に新たに開設されました。また「心連心WEB」のアクセス数も増加し、日中の若者の交流を促進しています。

[左] ウェブサイト「Performing Arts Network Japan」

[中] 『Japanese Book News』

[右] 『New Cinema from Japan』と日本映画および映画産業についての書籍2冊

